

堺区防災推進事業

～堺区の「防災機能の強化」～

令和4年11月7日
堺区役所 防災推進室

3つの重点取組

- 1 将来の担い手育成
- 2 地域防災力の強化
- 3 誰一人取り残さない防災体制の構築

1 将来の担い手育成

健診と連携した防災啓発 と 子育て世代向けの防災出前講座
の実施

学校における防災出前講座

親子向けの防災啓発

1 将来の担い手育成

健診と連携した防災啓発 と 子育て世代向けの 防災出前講座の実施

● ママたち考案 子育てファミリーのための防災ブック-堺区版- の作成

- ・北区発行の「防災ブック」を基に堺区特有の情報（津波など）を外国人居住者に配慮した「やさしい日本語」で加筆し発行（9月）

- ・本庁市政情報センター、堺市総合防災センターなどで配架中

● 子育て世代に向けた出前講座

- ・堺保健センターの検診で活用を開始（10月）

- ・本ブック掲載内容を基にした出前講座の実施



1 将来の担い手育成

学校における防災出前講座

- 消防局と連携し、堺区内小学校が堺市総合防災センターでの体験学習時に出前講座を実施
 - ・10/7 英彰小（65人）、10/28 三宝小（112人）、11/18 錦小（30人）
- 小・中学校で出前講座(授業)を実施
 - ・10/24 三国丘小（4年生155人）



1 将来の担い手育成

親子向けの防災啓発

- 11/20「堺区防災・防犯フェスタ」では、以下の4つのプログラムを実施
 - ① 様々な災害トラブルの解決方法を考える防災カードゲーム「なまずの学校」
 - ② 応急搬送体験「毛布で担架タイムトライアル」
 - ③ 重いガレキをもちあげる「ジャッキアップゲーム」
 - ④ 「ストラックアウト」を模した消火訓練プログラム「水消火器での的あてゲーム」



①



②



③



④

画像は、NPO法人プラスアーツHPより抜粋



- 学校などを会場とした親子防災キャンプも実施

2 地域防災力の強化

防災士資格取得の促進

堺区防災サポーターの育成

防災士資格取得の促進

● 防災士資格

予算20名枠のうち、15名手続き中

**めざせ
地域のミカタ!!**
防災士資格取得の費用を助成します

● 堺区防災サポーター

33名 (R4.3月末) → 43名 (R4.10月末)



防災士とは

“自助” “共助” “協働” を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、日本防災士機構が認証した人です。

(「防災士教本」日本防災士機構より抜粋)

堺区防災サポーターは

「防災士」資格を有した方で、地域住民の防災意識の向上、防災スキルの習得や防災訓練への参加、そしてこれらの集大成として地区防災計画づくりへの参画を通じ、堺区の防災力の向上を担う存在です。

堺区防災サポーターの育成

- 堺区防災サポーターとの意見交換（5月）
→ 年間スケジュール、ステップアップの内容、企画の内容を
事前に共有することが大事！

- ステップアップ研修会を開催（7月）
 - ▶ 堺区防災サポーターのプロフィールを共有
 - ▶ 災害リスクや堺区の実情、特徴を学習
 - ▶ ステップアップの内容・イメージを説明
 - ▶ 「堺区防災・防犯フェスタ」の開催を説明
 - ▶ 救命講習（堺消防署）を受講




堺区防災サポーターの育成

- 関大・三宝校区の合同自主防災訓練に堺区防災サポーター4名が参加（9月）
- 10/8 フェスタ当日に向けた研修会を実施
- 11/20「堺区防災・防犯フェスタ」を開催
防災サポーターの実践プログラムを同フェスタ内で実施
- 次回ステップアップ研修「福祉と防災」（11/28）（準備中）
- 防災サポーターの興味、関心とマッチしたステップアップ内容を実施



堺区防災サポーター間での情報共有手法

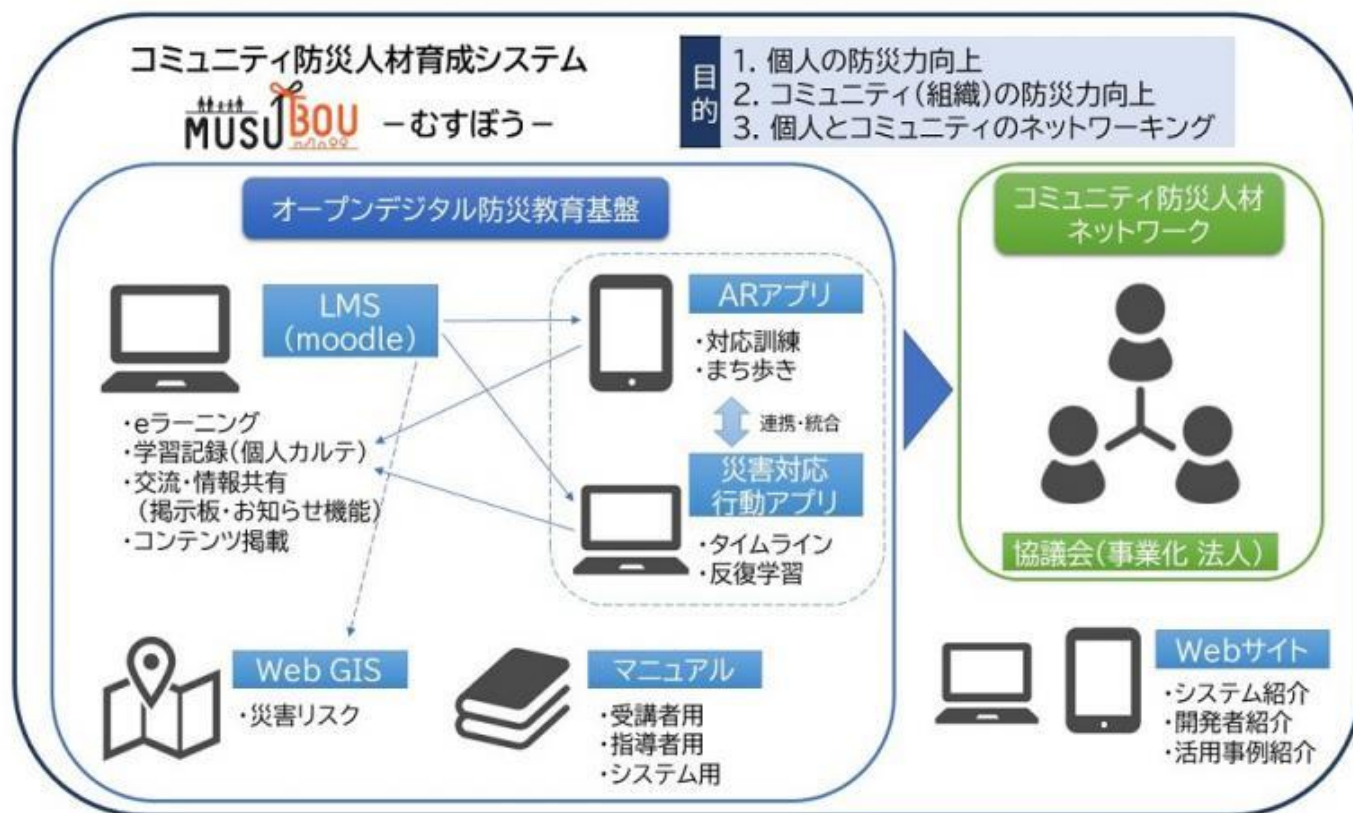
- コミュニケーションツールとしてビジネスチャットLINEWORKS  を導入 (8月)

- ▶ 堺区防災サポーター43名 (10月末時点)
- ▶ うちLINEWORKS登録者29名 (10月末時点)
- ▶ 研修の案内、防災訓練 (催事) の日程の共有、諸々の連絡のほか研修などの当日の写真データを投稿し、共有



堺区防災サポーターの育成

- 大阪公立大学と連携し、堺区防災サポーターなど防災人材を育成



2 地域防災力の強化

ARアプリを活用してまち歩き = 地域災害イメージの理解



教授陣によるWEB学習



ワークショップ



大阪公立大学HPより抜粋

3 誰一人取り残さない防災体制の構築

企業等への一斉帰宅抑制への啓発

外国人観光客等との災害時の情報共有

単身高齢者の安否確認に向けた支援・検証

3 誰一人取り残さない防災体制の構築

企業等への一斉帰宅抑制への啓発

- 堺防災協会加盟の事業所（約300事業所）へ「大規模災害時の行動ルール・計画策定のすすめ」を配布（9月）

- 堺防災協会の防災研修（サンスクエア堺）で大規模災害時の帰宅困難者対策研修を実施。参加49社（10/6）



- 消防協力事業所（約250事業所）の研修会でも上記の啓発を実施予定（令和5年度）



3 誰一人取り残さない防災体制の構築

外国人観光客等との災害時の情報共有

作成中のイメージ

- 堺ホテル協会、堺消防署（前回作成）及び防災推進室による協議（6月）
- 名刺サイズカード型で、4,000枚
- 英語、中国語（2）、韓国語、ベトナム語、インドネシア語で作成予定（1～3月）
- 観光案内所、ホテル、駅などで配付



3 誰一人取り残さない防災体制の構築

単身高齢者の安否確認に向けた支援・検証

- 新型コロナウイルス感染症の状況も見ながら、自主防災訓練予定を聞き取り



→17校区中、2校区で実施済み。11校区で実施予定

- 「無事ですカード」の状況（令和2年度まで）
作成済み 8校区
訓練で活用 5校区



- 地区防災計画策定の動きと併せ、校区でのニーズを見極めながら、支援の機会を探っていく。